

うごさいます

第58回県水産加工振興祭水産製品品評会

長崎県内の水産加工品の品質と製造技術の向上を図り、県民の水産加工品に対する認識を深めることを目的として開催される県水産加工振興祭水産製品品評会において、出品された全484品のうち、市内事業者の3つの水産加工品が受賞しました。

農林水産大臣賞（最高賞）

日本遠洋旋網漁業協同組合「天然ぶりの花糍漬け」^{はなこうじ}

日本遠洋旋網漁業協同組合（加藤久雄代表理事組合長）の「天然ぶりの花糍漬け」は、松浦魚市場で水揚げされた8觔以上のぶりを使用し、甘口の花糍みそにじっくり漬け込み製造されたもので、同社加工場の直売所や近隣の道の駅などで販売されています。

谷川秀人工場長は「魚をいかに活かすかを日頃から考えています。開発したかいがあった」と話しました。



▲写真左から谷川工場長、久保川部長、
湊口専務理事

水産庁長官賞

一般社団法人青島^{まる}「青島かまぼこ エソ」

一般社団法人青島^{まる}（辻山新悟代表理事）が販売する「青島かまぼこ エソ」は、青島で水揚げされた旬の魚を材料に、塩だけを使う昔ながらの味付けが高く評価されました。青島に住む人たちが、毎朝とれた魚で手作りされ、同社のオンラインショップや市内、市外のスーパーなどで販売されています。

辻山代表理事は、「無添加、無着色、塩だけを使う青島の伝統の味を認めていただき嬉しいです」と話しました。



▲写真右から上場専務理事と辻山代表理事

長崎県知事賞

大石水産「チリメン」

星鹿町にある大石水産（大石久志さん）の「チリメン」は、漁獲したカタクチイワシの稚魚をその日の天候に合わせて乾燥させ、魚本来の旨味を活かすため、味付けや添加物等を加えずに製造されています。近隣の道の駅などで販売され、ふるさと納税の返礼品としても親しまれています。これまで農林水産大臣賞などを受賞した逸品です。大石さんは「商品の質が変わらないよう安心・安全をモットーに、新鮮な味を届けたいです」と話しました。



▲写真左から大石久志さんの妻・佐登美さんと娘・実可子さん

受賞おめでと

高齢者地域貢献活動表彰

御厨町の「みくりや駅前元気カフェ」(中山誠基代表)は3月2日、令和2年度長崎県高齢者地域貢献活動表彰(地域の助け合い部門)に選出され、市長から表彰状が伝達されました。

この表彰は、介護予防や日常生活における助け合いなど、地域貢献活動に積極的に取り組む高齢者を中心とした団体に贈られるものです。

このカフェは御厨・星鹿地域で高齢者の孤立が進む現状に危機感を抱いた有志が、気軽に交流できる場所として平成27年に設立。週に2回、百歳体操や季節ごとの行事を開くなどの活動をしています。中山代表は「これまでの活動が評価されて嬉しいです」と話しました。



シンボルマークコンテスト表彰

伊万里湾環境保全対策協議会シンボルマークコンテスト表彰が3月10日、市役所で行われ、発案者である橋口奈央さん(調川中2年)に賞状が授与されました。

同会は、松浦市、伊万里市および唐津市の3市並びに関係団体で構成され、資源としての大切な海を守るため、連携し環境保全の取り組みを行っています。

今回、更なる認知度向上と活動趣旨の周知を図るため、シンボルマークを募集。3市の小中学生331点の応募の中から橋口さんの作品が選ばれました。橋口さんは「伊万里湾に生息するカブトガニをモチーフに、伊万里湾の『i』や海の青など、連携して取り組むという思いをデザインに詰め込んだ」と話しました。



「子ども県展」特別賞受賞

山本羽結さん^{はゆ}と上場汐央里さん^{うわばしおり}が、第66回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」(県教育委員会、県造形教育研究会主催)で特別賞(教育委員会賞)を受賞しました。子ども県展は小・中学生を対象とした県内最大規模の美術作品公募展で、子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創作の喜びを感じてもらおうと、毎年開催されています。

今回は109,265点の出品があり、60点が特別賞に選ばれました。

絵画部門【教育委員会賞】

山本 羽結さん(志佐小2年)

「選ばれると思っていなかったのですが、賞をもらえてうれしい。色を塗るところを頑張りました。」



版画部門【教育委員会賞】

上場 汐央里さん(青島小4年)

「賞状をもらえたので嬉しかったです。時間をかけて、踊っている動きを表せるよう、頑張りました。」

